

## I 第32週の発生動向 (2012/8/6~2012/8/12)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内から、迅速診断キットにより B 型 1 人の報告がありました。
2. 手足口病については、上十三保健所管内において新たに**警報**が発令され、東地方+青森市保健所管内では第 21 週から、弘前保健所管内では第 28 週から、五所川原保健所管内では第 31 週から**警報**が継続しています。

## II 第32週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ	1	0.1											1	0.0	-1			1	0.1
小児科 (74) RSウイルス感染症			1	0.1	10	1.1	3	0.6	5	0.8	2	0.5	21	0.5	1				
(75) 咽頭結膜熱			2	0.2					2	0.3			4	0.1	-5				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.6	4	0.4	13	1.4			8	1.3	4	1.0	42	1.0	16		13	1.6	
(77) 感染性胃腸炎	8	1.0	7	0.8	4	0.4			3	0.5	19	4.8	41	1.0	-3		8	1.0	
(78) 水痘	4	0.5			7	0.8			3	0.5	3	0.8	17	0.4	-5		4	0.5	
(79) 手足口病	66	8.3	171	19.0	9	1.0	14	2.8	31	5.2	8	2.0	299	7.3	34		66	8.3	
(80) 伝染性紅斑					1	0.1							1	0.0	-3				
(81) 突発性発疹	4	0.5	2	0.2			2	0.4	3	0.5	2	0.5	13	0.3	-15		4	0.5	
(82) 百日咳	1	0.1							1	0.2			2	0.0	1		1	0.1	
(83) ヘルパンギーナ	21	2.6	49	5.4	6	0.7	13	2.6	19	3.2	8	2.0	116	2.8	30		21	2.6	
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.1	6	0.7	2	0.2							17	0.4	-2		9	1.1	
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					4	2.0			1	0.5			5	0.5	0				
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0							1	1.0	2	0.3	-13				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：東地方1人、青森市1人、五所川原3人 (2012年計:269人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：青森市1人 (2012年計:7人)
- (72) 風しん(五類全数把握疾患)：上十三1人 (2012年計:1人)

## IV 病原体検出情報

- ・病原体検出情報は、ありませんでした。

# 感染症の窓

## ヘルパンギーナ (五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜の水疱性発疹を特徴とし、夏期に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎です。その大多数はエンテロウイルス属 A 群コクサッキーウイルスの感染によるものです。

エンテロウイルス属の宿主はヒトだけであり、感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。2~4日の潜伏期間後、突然の発熱に続いて咽頭粘膜が発赤し、口腔内に直径1~2mmほどの紅暈で囲まれた小水疱が出現します。発熱は2~4日間程度で解熱し、やや遅れて粘膜疹も消失し、ほとんどは予後良好です。稀に無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併する場合があります。

予防には、感染者との密接な接触を避けること、手指の消毒の励行などです。(参考 IDWR「感染症の話」)

2011年は、県内の患者報告数は全国に遅れて7月中旬から増加し、9月にピークがみられましたが、今年(2012年)は7月上旬から患者報告数の増加がみられ、今後の発生動向に注意が必要です(図)。

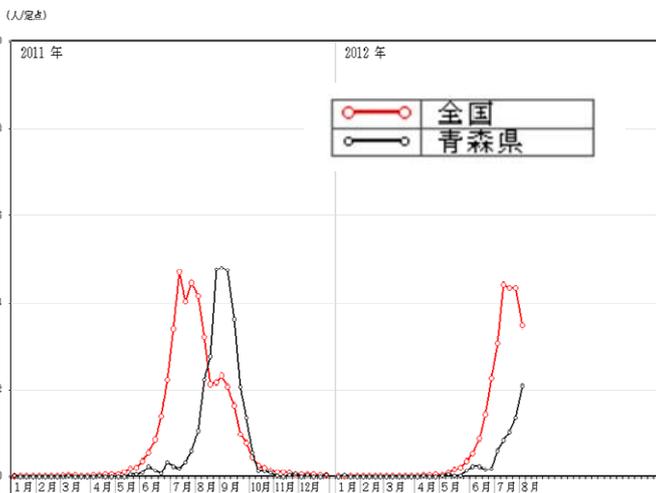


図 2011~2012年の定点あたり患者報告数推移

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（届出数は速報値です）単位：人 2012年第13週～第31週

c	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H24.3.19 ~ H24.3.25						
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		急性脳炎1人			つつが虫病1人	
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第13週～第31週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H24.3.19 ~ H24.3.25		1	3		5	1
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			1	1		

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

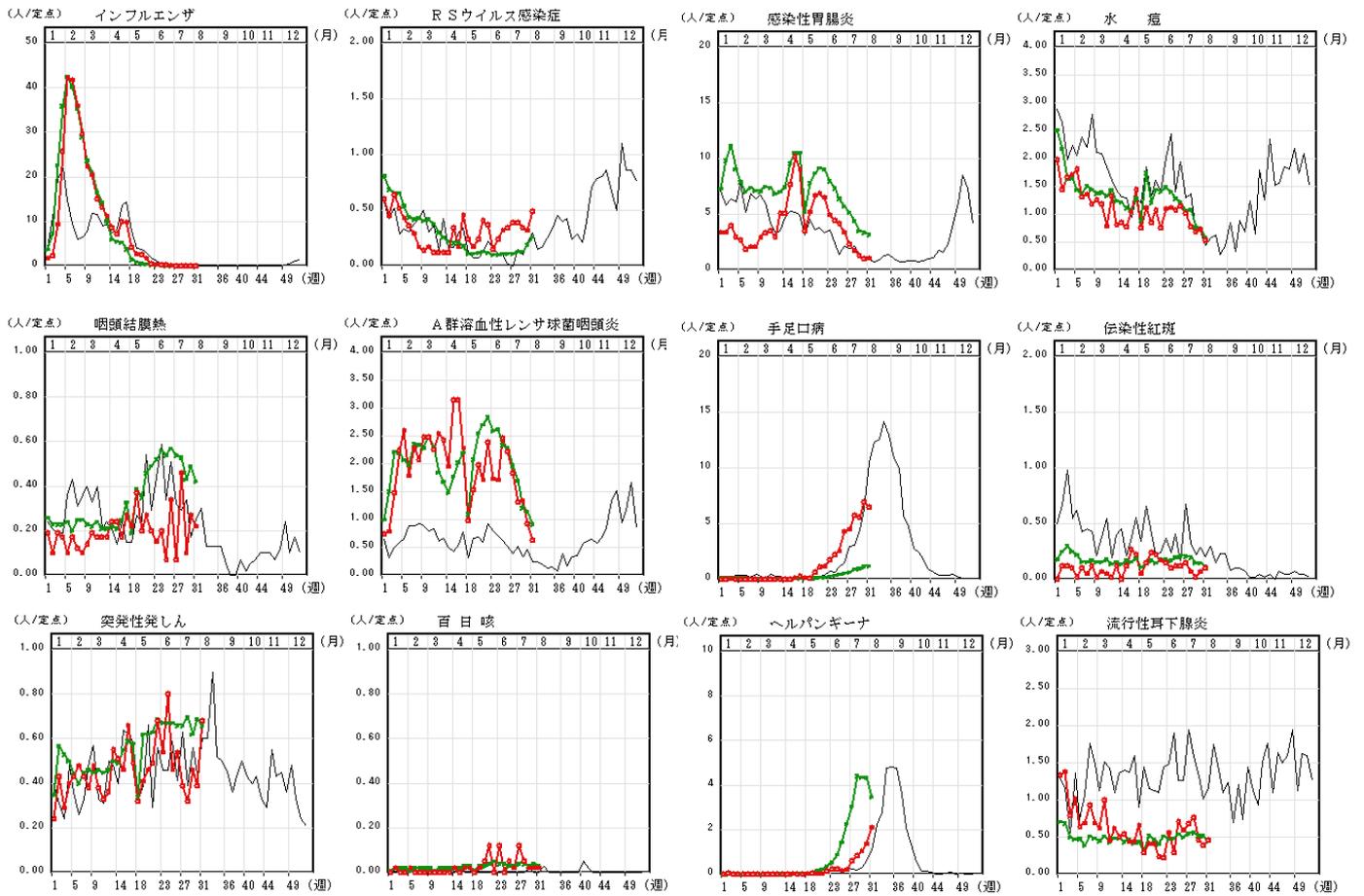
（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2012年8月15日9時00分集計速報値

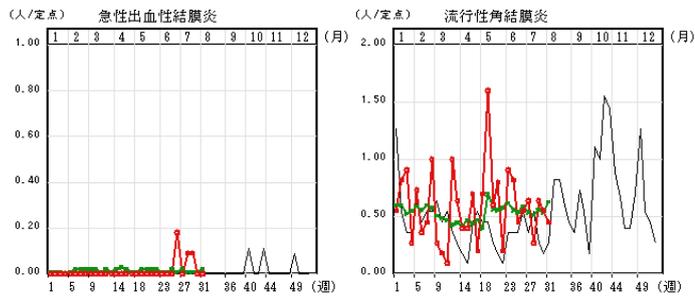
二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
全国	17731	3	126	1758	15	11	83	117	6	5	1	4	194	88	54	3	41	5	507	8
青森県	266	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	0
五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
全国	524	133	247	6	112	161	836	38	7	509	63	55	1106	223						
青森県	2	0	3	0	0	1	3	1	0	3	0	1	1	0						

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、×—×は2012年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2012年第31週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第31週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第31週

